



ほくとライブラリー 



# 新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

H31. 4月号

No. 209

## 春のブックフェア

新学期だよ 読んでみよう 教科書にのってる本

2019年4月23日(火)～5月12日(日)

春の読書週間にあわせ、学校の教科書に載っている作品を集めたブックフェアを開催します。  
今年使う教科書に載っているかもしれない話、昔使っていた教科書に載っていた懐かしい話、  
ぜひさがしてみてください！

## 第4回 アラヤード・ピクニック

新屋の各所で音楽会や展覧会などさまざまなイベントが開かれる『アラヤード・ピクニック』が、  
4月20日(土)と4月21日(日)に開催されます。

それにあわせ、新屋図書館でも『アラヤード・ピクニック』に関連した展示を

3月30日(土)から4月21日(日)まで展示いたします。

どちらにもぜひお立ち寄りください！

## 4月のおはなし会

4月6日(土)

14:00～14:40

春をつまんで

～エフロンシアター～

(おはなしのへや・幼児～小学生)

4月9日(火)

10:30～11:00

おいでおいで

春み～つけた

～絵本・指人形～

(おはなしのへや・赤ちゃん～)

## 新刊案内

### 18歳から考える ワークルール [第2版]

道幸 哲也・加藤 智章・國武 英生／編  
法律文化社 請求記号 336 (労働法)

私たちは生きていくために多くの時間を“労働”に費やします。この本では、労働に関する決まり事＝ワークルールについて、「仕事をはじめ」「働く」「働き続ける」「仕事をやめる」「職場のトラブル」の5章に分けて丁寧に解説されています。理解度を試すチェックテスト付き。



### マンガでわかる円形脱毛症になったら読む本

小豆 だるま／著  
合同出版 請求記号 494 (医学)

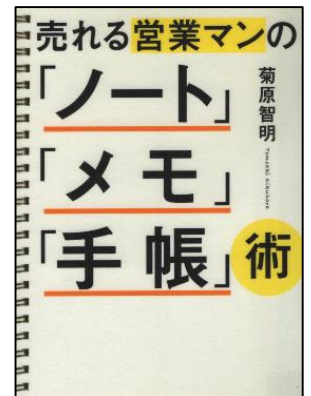
「円形脱毛症＝ストレスによる10円ハゲ」。それって本当？いつも同じ薬を処方されるだけで治癒しなかった著者が、原因は何か、病院に任せる治療と自分でできること、民間療法の危なさ、そして偏見・差別について、周囲の対応などをマンガでわかりやすく解説します。



### 売れる営業マンの「ノート」「メモ」「手帳」術

菊原 智明／著  
明日香出版社 請求記号 673 (ノート術)

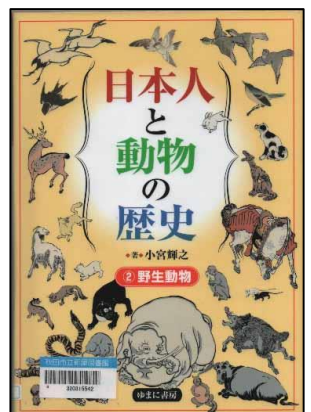
スマホやパソコンなどのデジタルツールで、スケジュール管理やメモを取る人は少なくないでしょう。では、そのスマホで電話中は？パソコンを起動させるまで相手を待たせる？ 著者は、アナログツールの重要性和、使い方を学ぶことで間違いなくメリットがあると説きます。



### 日本人と動物の歴史 ②野生動物

小宮 輝之／著  
ゆまに書房 請求記号 48 (動物)

動物園で超人気者のパンダ。けれど実物を見たことがない人もいるのでは。歴史をさかのぼること奈良時代。天武天皇がパンダを見ていたかもしれない。中国の古文書には贈り物をしたと記録があるというのだ。未知なる動物・なじみ深い動物両方と日本人との関わりを紹介します。



## 図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

書名	鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。
著者名	川上 和人／著
出版社	新潮社
所蔵	明德・イソップ 請求記号 488 (鳥類)



著者はNHKのラジオ番組「子ども科学電話相談」の回答者としてもおなじみの鳥類学者・川上和人氏。

こんなタイトルではありますが、鳥への愛情は人一倍。「私の知る限り、動物は足が多いほど不快性が増し、少ないほど美しい」「鳥類と美の神アフロディーテは2本。どう考えても鳥類と女神が美しい」と持論（屁理屈…?）を展開します。

そんな軽快で楽しい語り口の中にも、「自然の環境と、そこに住む生き物たちが多種多様であることの重要性」「在来種を保護しつつ、外来種とうまくつきあっていくことの難しさ」など、研究者としての真剣なまなざしが感じられ、読んでもちょっと背筋を伸ばしたくなります。

“鳥の目”を通して、私たちの周りの自然について考えたい一冊です。

## 図書館員（近藤 明奈）のおすすめ本

書名	お父さんがキモい理由を説明するね
著者名	中山 順司／著
出版社	泰文堂
所蔵	明德 請求記号 367 (家族)



進級、進学、一人暮らし…4月は新生活がスタートする時期です。お子さんの成長を嬉しく思う反面、なんだか距離が空いてしまった気がして寂しく思うお父さん、お母さんも多いのではないのでしょうか。そんな方にこの本をおすすめします。中学生の娘を持つ著者が“娘と接点を失っているお父さん”のために書いた本です。著者が娘から恋愛相談をされたことをきっか

けに、普段話さないようなことを話してみようと提案。3カ月にわたる、父と娘のマジトークが始まります。なぜ娘は父を「キモい」と言うのか。さらに妻と祖父まで巻き込み、話題は恋愛観、人生観、さらには死生観や先祖についてまで！まだまだ子どもと誤解している、意外にしっかりと物事を考えているのかも。みなさんもお子さんとマジトーク、いかがですか？

## 記事になったお酒の話題あれこれ・・・酒蔵も最先端・・・

横手市増田町の酒蔵「日の丸醸造」が、VR（バーチャルリアリティ＝仮想現実）映像を用いた「バーチャル酒造見学」を実施しています。

対象は有料の内蔵見学をした人など。専用のゴーグルを装着すると、蔵の中の様子や、麴造り、酒搾りの工程を再現した映像が流れます。

衛生面への配慮などから日頃は非公開としている酒造りの現場の雰囲気疑似体験できるとあって、これからの観光シーズンに向け、地区の呼び水としたいとのこと。

新たな角度から酒造りの雰囲気を感じ、そして楽しむお酒の味は、ひととき格別なのではないでしょうか。

新屋は、醸造の街。  
新屋図書館には、酒の資料コーナーがあります。

【参考資料】  
読売新聞

2019年2月18日

## 平成ってどんな時代？・・・平成23年・・・

平成23年は2011年。3月11日に発生した東日本大震災により、日本全体が大きな混乱に陥った年でした。秋田県でも、秋田市と大仙市をはじめ各地で激しい揺れに見舞われ、県内全域で停電や断水が発生。交通機関もマヒ状態となりました。

ほかにも、1月には由利本荘市・横手市・湯沢市などの観測地点で観測史上最も深い積雪を記録する大雪に見舞われ、6月には活発な梅雨前線の影響による大雨で各地の河川が増水、浸水被害が相次ぎ、8月には台風4号が秋田県を横断し、道路の冠水や床下浸水を引き起こすなど、自然災害が猛威を振りました。

大変な年でしたが、2010年にクニマスが見つかったことをきっかけに、山梨県富士火口湖町の西湖と仙北市の田沢湖が姉妹湖として協定を結ぶなど、明るいニュースも見られました。

【参考資料】『DATA File あきた 2011』『DATA File あきた 2012』

## 図書館員のひとりごと

ブックスタートやおはなし会などで、新屋図書館にも小さなお子さんが来てくれるようになりました。それでも、「図書館に幼い子どもを連れて行くと、周りの人の迷惑になるから行きにくい」というお母さんの声があります。新屋図書館は小さなお子さん大歓迎です。子どもと保護者が周囲を気にせず利用できる環境を整えたいと思っています。こどもは国のため。大人のみなさん、ちびっこが多少うるさくしても許してもらえませんか？

(藤坂)

いやいや びっくり。この“ひとりごと”の欄書こうと下書きして、パソコン開いたらおんなじことがすでに書かれていた。というのも近ごろ、小さい人の来館が増えたから。本やおはなしを楽しむ姿はもちろんほほえましいけれどそれだけではなく、たまたま、おはなし会に来たとき「初めて寝返りが出来た」「初めて立ち上がった」その瞬間に立ち会うことがあります。大人になると同じような毎日の繰り返しですが、子どもは毎日新しいことを発見し、出来る事が増える、すごい勢いで成長している。生命萌え出るこの季節、成長のエネルギーを持つ子どもを見ていると面白い。

(吉田)